
中部SLA協会

1999年6月24日 発行
総務委員会 広報部会

SLA通信

第18号

〒460-0024 名古屋市中区正木 1-2-8
(財) シニアルネサンス財団内
TEL 052 332 7883

《イチゴ狩りといも掘り》

中部SLA協会 会長 田中 芳雄

我が家の近くの幼稚園児が、春と秋にきまって、保育園の先生に引率されて、賑やかなおしゃべりの行列が通る。帰りにはうれしそうに、春はイチゴが3～4粒、秋は大きないもが1～2個入った小さいビニール袋を手にしている。園児に話かけると「これ、僕が取ったんだよ」と、さも自慢げに見せてくれた。

そこで今年は園児達と一緒に、農園を訪問してみた。なんと、この企画を長年提供してくれているのは、顔見知りである元勤め先の得意先の社長であった。分家した息子の200坪ほどの空き地を利用して、園児に野菜を育てる大切さ、収穫の喜びを、知って貰おうともう10年近く続けているとの事だった。もちろん、イチゴとさつまいもだけではなく、季節の野菜をそれぞれに育てているとのことだった。

都会では出来ないが田舎だからこそできる、また、土地があるから出来ると言うものの、通常発想では、自分のために家族のためにと考えがちであるが、このように、これからの子供のために思った本当のボランティア精神を、垣間見た気がした。

我々も、日常の合間に心のゆとりを持ち、SLAグループ内だけではなく、視野を大きくして、発想の転換をし、胸にあたためた思いを提案して、もっと外に働きかける時期に来ていると考えられるがいかがでしょうか……。

平成11年度通常総会開催報告

4月25日出席者38名、委任状64名、合計102名にて開催されました。当日提示した下記議案が、すべて承認され、新しい活動がスタートしています。

- 議案 1・平成10年度事業報告
2・平成10年度会計報告
3・平成11年度事業計画
4・平成11年度収支予算
5・平成11年度幹事・監査選任

新役員の紹介

会長	田中 芳雄	総務委員	会計担当	中野 明美
副会長	大歳 篁子 (総務部総括)	総務委員	広報担当	小澤 節子 加藤愛佐子
		総務委員	書記担当	大歳 篁子
副会長	宮川 和男 (研修部総括)	研修委員	大森 政文 紅林 綾子	中嶋 峰子 永坂 真弓
		パソコン担当	田中 芳雄	
副会長	尾関 恵子 (地域部総括)	地域委員	斉藤 立子	
監査	岡田伊奈子 小山 静子			

平成11年度第一回幹事会決定事項

- ※ 幹事会スケジュール 6月、7月、9月、10月、11月、12月、2月、3月
開催場所 伏見ライブプラザ12F (第1土曜日10:00~12:00)
- ※ SLA通信発行予定 6月、9月、12月、3月
会員間の交流を密にし、地域活動を促進するためにも、大いに通信を利用して下さい。
皆様の投稿をお待ちしています。

財団主催 「ジェロントロジーシンポジウム」と「全国SLA大会」の開催
財団主催の本格的な「ジェロントロジー」についての、シンポジウムが、下記要領で開催されます。今まで各地区の存在は知っていても、交流は期待出来ませんでした。今回又とない機会が訪れました。

日時	6月26日(土)「ジェロントロジーシンポジウム」	津田ホール
	6月27日(日)「全国SLA大会」	オリンピック記念青少年総合センター
協議内容	1) 介護保険制度実施にあたってSLAはどのような役割を果たすべきか 2) シニアの自立って何?あなたは自立していますか? 3) シニアライフはおもしろい 4) シニア自身と社会の活性化のために社会参加を呼びかける	

研修部会だより

昨年度の研修に対する反省から、今年度は全員の方より「研修のもち方」と「研修内容」についてのご意見をいただいた。

結果は次のとおりであった。(6月3日までの返信分94通について)

「研修のもち方」	
①従来どおり希望者登録式	10
②テーマにより自由参加	78
③その他 (具体的に)	0
④白紙	8

「研修内容」(複数の内容のもの有り)	
● 介護保険	10
● 年金	7
● 医療	2
● グループ活動	2
● その他 (1件づつ)	18
● 白紙	64

以上の結果を踏まえて、5月29日(土)に研修部会、6月5日(土)の幹事会で検討の結果、次のようになった。

研修のもち方は、②テーマにより自由参加とする。ただしこの場合研修実施に必要な費用の徴収が難しい問題となるが、当面は、研修ごとに200円～500円を参加者から頂く(講師お礼、訪問の際のお土産、通信費、資料コピー代等参加者負担分)。

研修内容については、白紙が64通も有ることを考えて、今後慎重に検討して行く。また、講義だけでなく、施設見学等も加えていくこととなった。

☆これからの研修スケジュール☆

講演会

7月24日(土) 場所 伏見ライフプラザ 12F ボランティア情報センター集会室

時間 13:30～15:30

参加費 500円

テーマ 「人間関係を豊かにする会話法」

講師 元東海ラジオ アナウンサー
現在 トークルーム KAYOKO 主宰 谷口佳世子先生

谷口先生は現在多くの会社や病院などで、接客マナー、電話応対、言葉遣いなどの講師を担当しておられます。私達もこの研修を通して、お互いに、より理解し合える会話の重要性を、学んでいきたいと思ひます。

見学会

9月10日(金) 愛知たいようの杜 (特殊養護老人ホーム・ショートステイ・在宅介護支援センター・ホームヘルプステーション・デイサービスステーション) の見学と吉田一平施設長から説明を聞く。

集合場所 市バス猪高緑地バス停 13:40 集合 徒歩約20分
(地下鉄本郷駅の市バス2番のりば→猪高緑地行き 13:15、13:25)

終了予定 15:30

参加費 300円

研修への参加希望者は、それぞれ実施日の1週間前までに、氏名・電話番号を、下記まで連絡してください。

宮川 和男 〒464-0006 千種区光が丘2-14-6 Tel 052-722-6105 (留守電も有)

パソコン教室からの報告

平成11年度第1回パソコン教室が、5月1日より、北区役所6階多目的教室で、毎週土曜日に開催されております。参加者10名は、ノートパソコンを前に、汗をかきかき、難解なパソコン用語に挑戦しております。二人一組で、隔週自宅に持ち帰り、家事の合間を見つけては、慣れないキーボードに悪戦苦闘していることでしょう。10回の講座が終了する頃には、すばらしい暑中見舞いが作成出来ると、期待で胸をふくらませています。

第2回パソコン教室は、9月4日(土)～10月30日(土)AM 10:00～12:00(10回)
2ヶ月の予定で開催されます。

どんなに知らなくても、恥にはなりません、知らないからこそ、学んでみませんか!!!!
希望者は下記までお申し込み下さい。

パソコン講師 5期生 田中 芳雄 TEL&FAX (0586-62-8178)

誠和荘を見学して

3期 木村 秀子

桜の花咲く3月31日、北部会員10名は、特別養護老人ホーム誠和荘と養護老人ホーム誠和荘を見学させて頂いた。北部会10名は、まず集会室で松田荘長さんのお話を伺った。この施設は老人福祉法により、65才以上で心身又は家庭環境の理由と経済的理由により、家庭において養護を受けられない人の生活をしていくための養護老人ホームである。この建物に続き同じく老人福祉法に基づき、65才以上の寝たきりで常時介護を必要とし、家庭では介護を受けられない人が生活していく特別老人ホームがある。あわせてショートステイ・デイサービスセンターもある。続いてこれから始まる介護保険制度について詳しく説明がありよく理解できた。それから見学にうつり、きちんと整備された施設内を見せて頂いた。これだけ大規模の施設を運営していく気配りは大変なことと感心した。

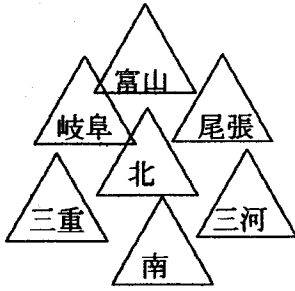
見学後メンバーで話し合いを行った。これからは、ショートステイ・デイサービスなど施設が増えると入所を選ぶ時代になるので、施設も大変なことになるそうだ。

私共は、よく学びよく考えて、賢い利用をしたいと考えた。あわせて、SLAとしてこの実状を皆様にお伝えする責任があると実感した。



地域部会だより

所属希望地域部会の集計と、一部スケジュールが決定しているところについてお知らせします。
毎年登録更新をお願いし、新メンバーで構成されています。



名古屋南部会

名古屋南部会 (18名) 代表者 金田勘治郎
6月19日 総会開催し、スケジュール及び
行事内容検討

名古屋北部会

名古屋北部会 (21名) 代表者 外山晴美
5月8日 第一回定例会開催
年間行事予定の検討・生き生き
教室・見学会等
6月25日 施設見学 (なごやかハウス福原)
予定

尾張部会

尾張部会 (24名) 代表者 高田昌子
7月1日 総会開催し、スケジュール及び
行事内容検討

三重部会

三重部会 (5名)
代表者 岩瀬哲也

三河部会

三河部会 (6名)
代表者 未定

高山部会

高山部会 (1名)
代表者 茅壁幸子

岐阜部会

岐阜部会 (10名) 代表者 水野醇子
6月13日 総会開催し見学会の計画決定
今年度活動目標 老人介護・勉強会・講演会参加
見学会 老人保健施設「寺田ガーデン」
実施日時については今後決定次第お知らせします

変わる世相 変わる相談

電話相談を通じての人生勉強

(3期 原 健一)

人間関係の悩みの解決には多分正解はないであろうから助言も難しい。例えばこじれた嫁姑関係の修復は、電話相談程度では納得しにくいものである。それでも、私があなたならこうしますがどうですかとか、私はこうしましたと抽象的でなく具体的な話をすると、相手はそれなりに理解しやすいようである。いずれにしても、クライアントの切実な訴えを聞いて、私なりの助言をして、何となく納得されたような気配のときには、少しでも社会の役にたったのだなという実感とともに、私自身良い人生勉強になったとの充実感を持つことができ幸せに思う。

電話相談は通常深刻な問題が多いが、明るい前向きの相談を受けることもある。60才の女性からの相談「同窓会で同席した男性に誘われてダンスで楽しい時間を過ごした（主人には事前に承諾済み）。今後この男性とダンスの交際を続けて良いのだろうか」という。日本のシニア層の男女交際はぎこちないことが少なくないようである。開かれた明朗な交際はむしろ奨励されてよいことであると話したものであった。

電話相談室の性格づけと広い研修分野

平成7年度の当協会電話相談研究部会で、相談室の性格付けについてメンバーから話題が出たことがあった。一つは「年寄りを対象にした心の電話相談」とするのはどうかとの意見。もう一つは、財団は「中高年齢者総合生活相談」を趣旨としているので、対象は広くシニア層にわたり、又生活設計にも役立つ定年の悩み110番相談のような活動（当時協会の方針未定、大阪は実施済み）が望ましいとする意見であった。前者は当時の相談内容の実態から見て一見識であるに違いなかったが、私は後者を支持した一人であった。

しかし電話相談の奥行きは広いため、助言内容や研修にも一工夫が必要である。相談のうち非常に専門的内容にわたる場合は、本部を通じて専門家の回答を求める現行システムは良い制度であるが、実際は利用しにくいのではなかろうか。相談員の研修方法は多岐にわたるので、協会でも時宜に適した研修を実施しているが、電話相談技法は「日本電話相談学会（事務局青山学院大学）」などに入会して研鑽することも望ましい方法といえよう。

《平成11年度「定年前後の悩み110番」に参加して》

・・・原稿をいただいた方々へ・・・

紙面の都合で一部割愛させていただいた部分と、氏名は伏せてありますが、ご了承下さい。

「相談員の心構え」

中部SLA協会での電話110番が3回目を迎える事が出来たのは、参加される方々の態度が非常に謙虚で言葉使いも丁寧で、人間味に富んだ応対振りにあると思います。

今後、この事業も続くと思いますが、この行事に従事される方は、この気持ちを胸に刻み、やっていけるよう望んでおります。

「.....」

日頃の電話相談では、シニアと名付けられているので、人間関係に関わる心の悩みが多く寄せられますが、年1回の「定年前後」のと、名付けられると範囲が限定されます。

職を失った後の経済的な問題、ことに年金の話に集中するのはやむを得ないでしょう。

相談員の方々が、熱心に勉強され、それなりに回答をなさっていらっしゃるのに、感心させられました。専門知識の不足は、誠意を持った対応で一応安心感を持たれていたようです。

「今後の相談員のために」

電話をかけて来る人はとてもよく勉強しています。

再就職して給料いくらの時、年金はいくらか？ 大体の金額を知りたい人が多いように思います。

こういう質問には、標準（平均）の回答を用意しておくとう便利かとおもいます。

「.....」

今年はいじめて参加し大変勉強になりました。

その後、電話当番日が2日ありましたが、いずれも年金に関する相談でした。シニアライフの相談室というより年金相談室のようでした。年金の勉強をもっとしなければいけないと思いました。

「SLA活動のいつそうの定番を」

今年で3年目ですが、全国規模の電話相談事業として定着してきたのではないかと考えます。

毎年、企画、運営、そして当日の相談を担当される方々の努力に感謝します。運営の方法も年々洗練されてきたようにおもいます。

時代を反映して、クライアント（相談する方）からの相談の内容も具体化しています。

その時々動き・情報を早めにキャッチし整理して、対応する事が重要です。研修会を何回も開いていただき当を得ているといえましょう。

通常の電話相談を担当していて、この「定年前後の110番」だけに限定せず、シニアの悩み事を聞く窓口として日常化出来るとうよいな一とも思います。（SLAの活動の間口をひろげる意味も含めて）

「マスコミのPRには関心が高い」

1・女性からのパートの解雇等、明日からの生活に困るような電話があり、不況が長引いていることを実感した。

2・年金問題が多く、一人のスーパーバイザーでは対応が忙しくて大変でした。あと一人くらい会員の中からでも年金に詳しい人が対応するとよいと思いました。

3・女性のパート勤めで急にやめさせられる人があり、不況には女性の立場の弱さを痛感しました。女性の地位向上が言われているとき、さみしい気がしました。

「.....」

SLAの事業として唯一のものがこの電話相談なのかと思っている。

多くの電話相談の中で継続していくには相談員の資質にかかっていると思う。その為には一回だけではなく何回か研修する必要があるのではないか、例えば110番では、どうしても、年金・雇用保険・再就職に集中するのは当たり前でも、去年勉強したことも今年は忘れていくことになる。自分の勉強不足を痛感した。

より多くの人が経験し、勉強を重ねる事が大事である。

「電話相談でSLAも生き生き」

昨年と今年、電話を受けて、利用者側が自衛のために事前勉強してみえるなど感じるが、一方で、全く予備知識をお持ちでない電話もある。

この両者へ、きちんと対応するためには、日頃からの、年金に関する研鑽の必要を思う。相談員の中には、新聞資料等を、こまめに切り抜き、電話対応資料へ綴じ込んで持参されている方もいる。

110番対応が、研鑽意欲を持続させてくれていると言えよう。

SLAの為にも110番を継続させてほしいと願う。

同時にSLA各自も研鑽を積んでいこうではありませんか。

「本年の110番の印象」

- 1・昨年度より相談人員、件数とも大阪を除き減少しているが内容は 年金、仕事、医療 の順位である。年金の比率は約10%減少している。大阪は約7%増加。
- 2・年金の相談内容は、逐年複雑になり質的に高度化している。クライアントに役立つことが基本であるが、社会システムとしては、相談内容が年金問題に特に偏るのは、当財団が「中高年齢者総合生活相談」を本来の趣旨としていることや、他の専門機関との社会的分業の役割から見ても、必ずしも望ましい傾向とは言えないのではないか。
- 3・地域振興券に対する苦情が寄せられたのは本年の特色である。今後は、介護保険の実 施に伴い、具体的な苦情や相談が持ち込まれるかも知れない。市町村で運営が異なるようであるので、相談員の対応もいっそうの準備や検討が必要となることであろう。

「実施時期をもう少し早めに」

初回と今回と2度かかわりましたが、やはり今回は、他の相談と重なったためか件数の少なかったのは少々残念に思いました。一方、中味を濃くお応えできる状態であったことも事実でしょう。

実施時期がやや遅いように思うのですが、いかがでしょうか。

大企業では当然、数年前から定年にむけての教育はなされていますが、問題は中小企業に勤める人の立場を考える必要があるように思います。出来るならば半年、最低でも年明け早々には開設すべきと思います。在任地域のハローワークがどこにあって、社会事務所がどこにあって、国民年金の事はどこにたずねれば良いか、わからない人がいかに多いのが実状です。

「女性が抱える定年問題」

年金問題は、一番苦手な分野ですが、情報として、新聞等の切り抜きなどで勉強しているつもりですが、主人が まだ現役ということもありまして、実感としてとらえることが出来ず、一度は辞退を考えましたが、挑戦してみました。

当日は年金問題ではないように祈る気持ちで受けましたが、幸いにも、退職を前にして、いかに家族と向かい合って生きていったらいいか等、生活の悩みが多く、驚くと共に、数年先私も、主人の定年との重なりを思い、女性が抱える問題は定年後いかに家族と向かい合うかにあると思いました。

財団関係ニュース

(財) シニアルネサンス財団主催

電話相談テーマ「シニアひとり暮らし110番」

開催予定日 平成11年9月11日(土) 12日(日)

従来3月に「定年前後の悩み110番」を開催しておりますが、本年より電話相談は上記と2本立てになり、より広く利用を呼びかけ、財団の活動を認識してもらえたく努力したいと思っています。

★中部SLA協会として、8月中旬から9月上旬に、「シニアひとり暮らし110番」の勉強会を開催する予定です。詳細は追ってお知らせします。



総務委員 会計より

平成11年度の年会費未納の方は至急下記へお振り込み願います

東海銀行笹島支店 口座番号 普通：1411404

年会費 ￥3000円

振込先名 中部シニアライフアドバイザー 協会

